

令和5年度学校自己評価システムシート (県立芸術総合高等学校)

目指す学校像	学芸を共に高め合い、芸術文化を担う人材を育成する高校
--------	----------------------------

重点目標	1 芸術的表現力と共通教科の学力向上を目指す意力の育成 2 芸術文化を担う人材としての人間性と社会性の獲得 3 芸術系進学重視型専門高校としての期待に応える進路実績の確保 4 芸術文化の発信による地域社会の活力づくりの推進
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	■現状 ・県内唯一の芸術学科のみの専門高校として、第一線で活躍する外部講師や関係機関等と連携し、高度な芸術教育を展開し、生徒一人一人の個性と能力を最大限に引き出すための教育活動を推進している。 ・共通教科(数学・英語)の少人数授業の実施や、補講、課題等によるきめ細やかな学習指導を展開している。 ■課題 ・芸術専門科目と共通教科目のいずれも意欲的に取り組む生徒の育成と、個々の学習状況に応じた学習活動の研究を進める。 ・新教育課程での評価方法の検証を継続するとともに、学力向上に向けた取組を推進する。	新学習指導要領が目指す資質・能力の獲得に向けた授業の工夫・改善 主体的な学習及び学力向上に向けた取組の推進	①生徒の「主体的・対話的で深い学び」を深化させた授業を実践する。 ②教員間で授業見学や研究協議等を実践する。 ③各教科・科目の観点別評価を検証する。	①協働的な学びを通じた生徒の変容が確認できたか。 ②授業の工夫・改善を行うことができたか。 ③各教科・科目の観点別評価方法を検証し、向上させることができたか。			
2	■現状 ・多くの生徒・保護者が学校に満足しており、充実した学校生活を送っている。 ・文化祭や体育祭等の学校行事や各学科の教育活動において、多くの生徒が主体的に判断し、行動している。 ■課題 ・多くの生徒が満足している傾向を維持するための方策を検討する。 ・表現活動の充実にあたり、生徒の心のケアを含めた生徒指導の共通理解を図る。 ・4学科の交流や合同作品の作成、地域との交流を進める。	芸術文化を担う人材としての意識及び行動の向上	①「芸術文化を担う人材」の育成を軸とした授業や学科活動、部活動を実践する。 ②全教職員の共通認識に基づく服装指導や心のケアなどを実践し、社会的なマナーやルールを尊重する態度を育成する。 ③学科間の情報共有をより進めるとともに、4学科連携した教育活動を行う。	①芸術文化を担う人材像のイメージが学校内外で共有されたか。 ②服装指導や心のケアを含めた生徒指導により、社会的なマナーやルールを尊重する態度を育成できたか。 ③4学科連携した効果的な教育活動を行うことができたか。			
3	■現状 ・東京藝術大学をはじめとする芸術系大学等への進学希望者が大多数であり、芸術系の私大を中心に、9割以上の生徒が現役で進学している。 ・生徒の多様な進路希望に対応するための環境を整えている。 ■課題 ・大学入試等の状況を引き続き情報収集し、組織的な進路指導を進める。 ・1年次から長期的な視野で進路指導に当たる。	進路実現を支援する取組の更なる推進	①学科・年次が連携して全職員による進路指導を行う。 ②芸術系大学への進学のための実技試験対策や受験科目の補習・補講等を充実させる。 ③「高校生のための学びの基礎診断」や卒業生・外部を活用した進路指導を行う。	①補習や課題配信、自学自習等の取組を進路指導として連携させて実施できたか。 ②生徒のニーズにあった補習・補講等ができたか。 ③「高校生のための学びの基礎診断」や、卒業生・外部を活用した進路指導等を実施できたか。			
4	■現状 ・アウトリーチ活動の定着とともに、地域社会への学校の魅力のさらなる浸透をめざしている。 ・意欲的、計画的に生徒募集に取り組んでおり、一度来校した生徒がリピーターとなり、志願者希望に繋がっている。 ■課題 ・県全体の生徒募集状況や今後の中学生数の減少を踏まえ、本校の生徒募集について学校全体で検討する。 ・感染対策を踏まえながら、生徒による地域社会への芸術的活動の推進等、更なる生徒募集の取組を進める。	志願者倍率の向上に向けた芸術文化の発信	①昨年度の校外活動や生徒募集方法等を踏まえ、学校の魅力を最大限に伝える学校説明会や体験入学を実施する。 ②各学科の生徒募集のデータ分析を引き続き進め、今後の生徒募集の在り方を再検討し、改善する。 ③生徒の活動を学校内外へ積極的に発信するとともに、全職員による生徒募集に取り組む。	①学校の魅力を学校説明会や体験入学で中学生に伝えることができたか。 ②各学科のデータ分析をさらに深化させ、学校全体で検討し、改善が進められたか。 ③志願者増につなげることができたか。			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		